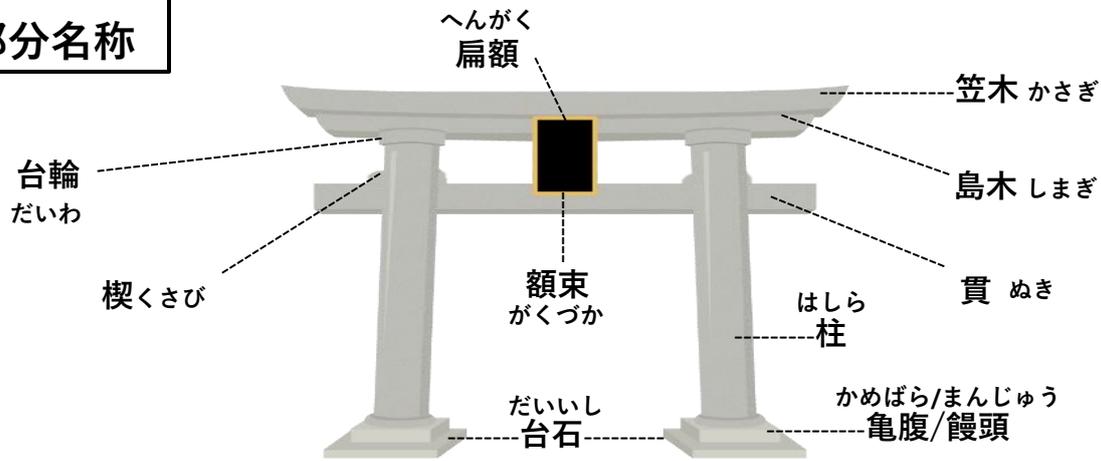


## 鳥居の部分名称



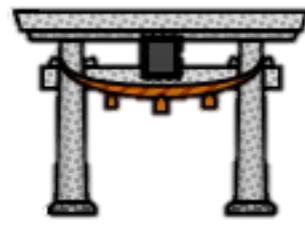
## 鳥居の主な種類

### ★明神(みょうじん)鳥居



横柱の両端が上向きに反っている。

### ★神明(しんめい)鳥居



鳥居上部の横柱が一直線になっている。

★太宰府天満宮にある六基の鳥居は全て明神鳥居★

#### ㊦ 一ノ鳥居

〈大鳥居〉

\* 花崗岩製

\* 元禄九年(1696)福岡藩第四代藩主 黒田綱政公の寄進

\* 笠木までの高さ7.3m・笠木幅9.3m・柱下の幅6.3m・重量30トン越す

\* 地中に1m弱しか埋められていないことが解体で分かった。

#### ㊦ 二ノ鳥居

\* 炭鋌王伊藤傳右衛門奉納

\* 明治37年に焼失した回廊・楼門の再建工事費募集がきっかけで奉納につながった。

平成元年(1989)5月20日再建

#### ㊦ 四ノ鳥居

〈鎌倉鳥居〉

\* 花崗岩製

\* 「筑前國有坂城主新田大炊介寄進」と記されており、南北朝時代に建立されたと推定され、九州で最古と言われている。

\* 昭和36年(1961)福岡県の文化財に指定された。

\* 高さ約6.2m・柱間約5.9m・柱直径約0.7m、平成3年(1992)12月1日再建

#### ㊦ 五ノ鳥居

\* 明治35年(1902)菅公一千年大祭に嘉穂郡の炭鋌主中野源六・徳次郎父子が奉納。

\* 懸額の「天満宮」の文字は黒田長成公の揮毫

#### ㊦ 六ノ鳥居

\* 花崗岩製

\* もともと連歌屋の十字路(信号のところ)溝の東側に建っていたが

まず西門へ移転しその後交通の障害になったため境内のひろはちしゃの木の側に移動させた。

\* 元禄十四年(1701)の鳥居

地上から笠木頂部まで3.5m、貫下端まで2.8m、地上部分柱内法は2.67m、柱の直径0.7m

\* 額束のみで扁額はない。

★㊦三ノ鳥居は特にエピソードなし。